



銅製 鱈わに口ぐち

面径三一・五センチ、厚さ一七センチのこの鱈口には次のような銘があり、新宮一族の奉納したものである。

「敬白奥州会津新宮熊野山両所鱈口

一口大旦那沙弥正宗

康応二年庚午四壬三月三日

在マ慶海彫字高瀬小旦那御子

別当吉原大工願青請」

鱈口は、寺社の軒下につるし、参拝のときに打ち鳴らすものであるが、当社の鱈口の特徴は、側面の形が一般には扁平楕円形であるのに対し、矩形け（長方形）に近い形をしている点であり、珍しいものとされている。

なお、康応二年は一三九〇年である。

所在地 慶徳町新宮字熊野 熊野神社

指定年月日 昭和三十年十二月二十七日